

# 目次

序 .....	i
本書を読むにあたって .....	iii

## 第1章 総論——東洋医学とはどのような医学なのか

1. 東洋医学体系の特徴 .....	3
1 歴史的特徴 .....	3
2 理論体系の特徴 .....	8
2. 東洋医学理論の特徴 .....	16
1 機能を重視する .....	17
2 関連性を重視する .....	18
3 万物は移り変わり，循環している .....	24
3. 基本的病態——発病・邪と正気・虚実・証 .....	26
1 発病の考え方と基本的病態像 .....	26
2 病態の表現，証とはなにか——病気をどのように考えていくのか .....	33

## 第2章 東洋医学の診断方法

1. 診断の基礎 .....	41
1 診察方法 .....	41

2	病とはなにか	43
3	証とはなにか	45
2.	四診の実際	52
A.	自覚症状の把握 — 問診について	52
B.	身体状態の観察 — 望・聞・切診について	58
1	望診	59
2	聞診	72
3	切診	75
3.	舌診	78
1	舌診の概要	78
2	舌質の診断	84
3	舌苔の診断	89
4.	脈診	100
1	脈診の方法	100
2	正常な脈象	104
3	病的脈象	108

## 第3章 主要症状の診断

### I 全身症状

1.	寒熱症状	129
1	寒症状と熱症状	129
2	寒熱症状の分類	133

2. 発汗症状（汗証）	143
1 発汗の仕組みと病態	143
2 病的発汗の病態	144
3. 頭部顔面症状	155
1 眩暈と目昏	155
2 頭部・頭髪症状	158
3 眼症状	159
4 鼻症状	160
5 耳症状	169
6 咽頭口唇症状	170
7 歯と歯齦症状	172
4. 排便・排尿異常	173
1. 便秘	
1 便秘の基本病態	173
2 便秘の各病態	175
2. 下痢	
1 下痢の基本的病態	183
2 下痢の各病態	186
3. 排尿異常症状	
5. 胃腸症状	197
1 食欲と味覚の異常	197
2 悪心・嘔吐・噯気・吃逆	201

3	口燥・口渇と唾液異常	206
4	胸焼け	209
6.	胸部症状	210
1	咳嗽と痰	210
2	動悸	210
3	嘔声と失声	217
7.	睡眠異常	219
1	不眠	219
2	嗜眠	238

## II 疼痛症状

1.	疼痛の基本病態	239
1	実証の疼痛	240
2	虚証の疼痛	243
2.	重要疼痛の病態	248
1	胃痛（胃脘痛・心下痛）	248
2	頭痛の病態と方剤	259
3	痺証（痺証）	279
3.	各種疼痛の病態	293
1	胸痛	293
2	脇痛（季肋部痛）	294
3	腹痛	295

4	身体全身痛	296
5	四肢痛	296
6	腰痛	297

### Ⅲ 月経異常

1.	月経の生理	298
1	月経の問診	298
2	正常月経の生理	299
3	月経周期の生体変化と治療原則	302
2.	月経異常の病態	305
1	月経異常の基本的病態	305
2	月経痛	312
3	月経先期	318
4	月経後期	321
5	過多月経	326
6	過少月経	328
7	月経不定期	330
	用語解説	335
	方剤の組成（医療用漢方製剤にないもの）	356
	用語索引	361
	方剤索引	371

## column

中医学という言葉の意味するもの … 5	「医は意なり」 …………… 62
わが国の伝統医学の名称について … 6	脈診の習得 …………… 104
「物語能力をどう育てるか」 という記事に寄せて …………… 11	悪寒・さむけと冷え …………… 131
西洋医学と医学用語 …………… 13	ほてりととのぼせの違い …………… 133
「学」より「術」へ —東洋医学の学習法 …………… 36	盗汗という名称について …………… 149
伝統的な診察方法 …………… 42	西洋薬の睡眠薬と漢方薬 …………… 237
弁証という言葉 …………… 47	虚証疼痛の病理 —栄えざれば則ち痛むとは— … 245
十問歌について …………… 56	「痛」字の字義と「通」について … 247
仮神の実例 …………… 62	更年期障害について …………… 312